

6.1 環境配慮型先進トラック・バス導入加速事業(環境配慮型先進トラック(電気自動車)導入事業)

② 荷主と連携したサプライチェーン全体のCO₂削減取組

事業概要

事業者概要	事業者名	東京納品代行株式会社 (ダイムラー・トラック・ファイナンシャルサービス・アジア株式会社)
	業種	運輸、郵便
事業所	所在地	千葉県
	総延床面積	178㎡
補助金額	補助金額	732万円
	補助率	2/3 (掛かり増し経費に対する)
主な導入設備	従前設備	ディーゼルトラック
	導入設備	EVトラック 1台 (8トン未満)
事業期間	稼働日	2022年6月29日
区分		新設
特長		荷主要望により電動トラックの新規導入。軽油から環境に優しいエネルギーへの切り替えが実現でき、脱炭素社会推進に貢献した。エネルギー転換に伴い、コストが削減できた。

システム図



【EVトラック】

写真



6.1 環境配慮型先進トラック・バス導入加速事業(環境配慮型先進トラック(電気自動車)導入事業)

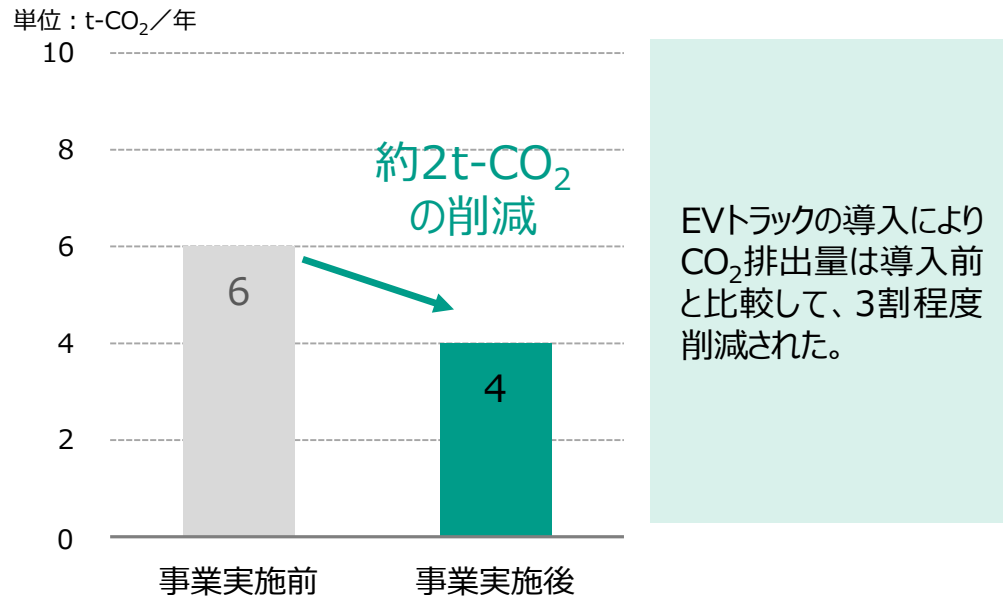
② 荷主と連携したサプライチェーン全体のCO₂削減取組

事業の効果

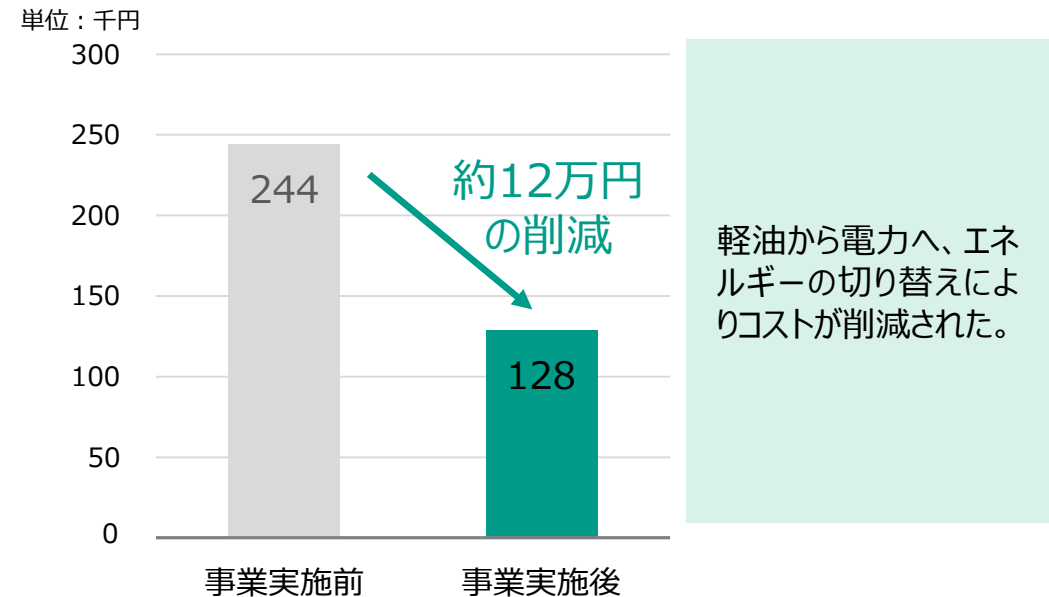
エネルギーコスト削減額		約12万円/年
投資回収年数	補助あり	約69年
	補助なし	約133年

CO ₂ 削減量	約2t-CO ₂ /年
CO ₂ 削減コスト	901,840円/t-CO ₂

CO₂排出量 (t-CO₂/年)



エネルギーコスト (万円/年)



【脚注】

※ ここに示す事業の効果は、電力単価：22.7円/kWh（出典：電力・ガス取引監視等委員会）、軽油単価：149,600円/kL（出典：資源エネルギー庁HP）を用いて試算したものである。

② 荷主と連携したサプライチェーン全体のCO₂削減取組

事業によって実現できたこと／事業前にあった課題及びその解決方法

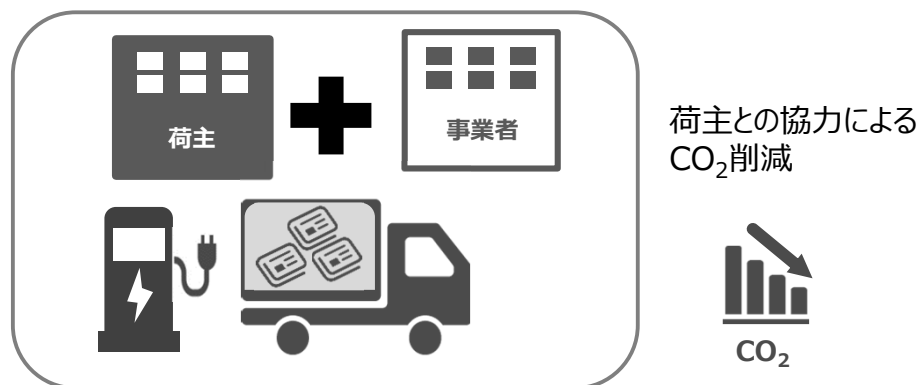
■ 「EVトラックの新規導入」によって、サプライチェーンのCO₂排出量削減に貢献した。

- 荷主からの導入要望及び費用の一部荷主負担申出を受けて、都内の百貨店向けの配送トラックをEV化したことで、自社のCO₂排出量を削減すると同時に荷主側のScope3のCO₂排出量削減にも貢献できた。

■ 「EVトラックの新規導入」によって、CO₂削減以外に、以下のような副次的効果があった。

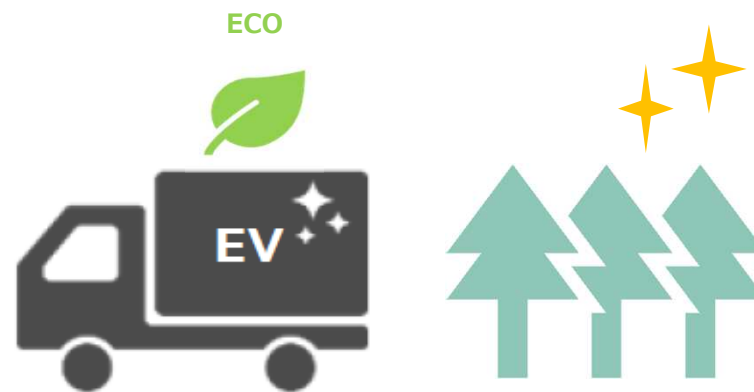
- 環境評価制度（サステナビリティ評価）を受け、改善計画を実行することにより、社会的評価の向上に繋がった。
- 静粛性向上ならびに加速性向上によりドライバーのストレスが軽減した。

サプライチェーン全体のCO₂排出量が削減



荷主との協力により、サプライチェーン全体のCO₂排出量が削減した。

社会的評価の向上

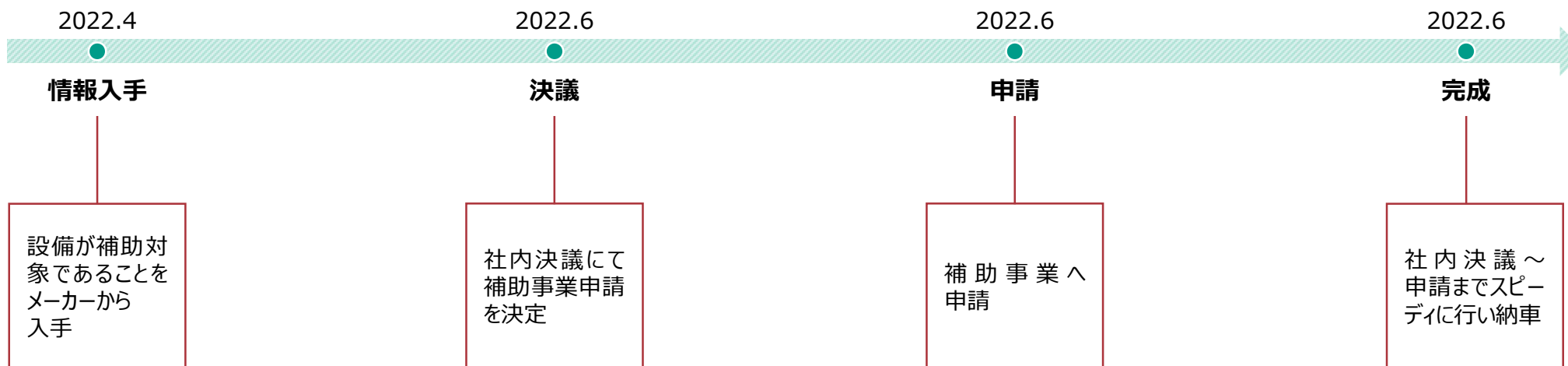


世界標準のサステナビリティ評価を受けた改善計画で、社会的評価が向上した。

6.1 環境配慮型先進トラック・バス導入加速事業(環境配慮型先進トラック(電気自動車)導入事業)

② 荷主と連携したサプライチェーン全体のCO₂削減取組

事業の経緯／今後の予定



【脚注】
※ 中期経営計画にて2026年までに次世代車両の保有台数を22台まで増加させるという目標があり、過年度においても当補助金の申請をしているため、情報入手～完成までの期間を短縮出来た。

事業者の声



清澤 秀一

人事総務部

- ・ 荷主からの要望によりEVトラックを導入し、費用負担も含め、荷主との連携取組を実施しております。
- ・ 静粛性ならびに加速性の向上でドライバーのストレスが軽減し、労働環境の改善にも繋がっております。
- ・ 全社的にカーボンニュートラルに取り組んでおり、将来的には再生可能エネルギーの導入も見据えた非化石エネルギー転換を図っていく予定です。